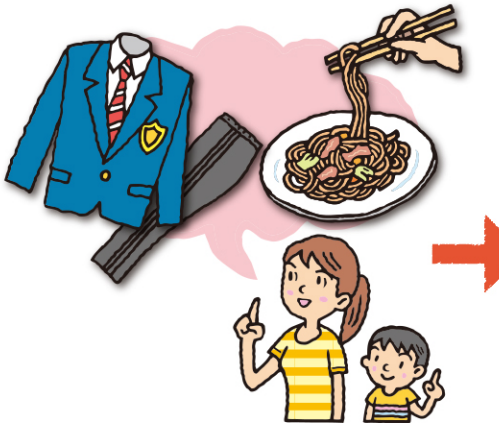


地球と未来にやさしい、エコライフスタイル。 誰にでもできる、カーボンオフセット。

暮らしの中で発生するCO₂を少しでも抑制しよう!



商品が作られる中で発生するCO₂も意識しよう!



カーボンオフセット商品やサービスを購入することで
森づくりを応援してCO₂を減らしたり、
様々な生き物を増やすことを応援できます。

「カーボンオフセット」って?

「カーボンオフセット」という言葉を、テレビや新聞などで見たり聞いたりすることが増えていますが、どういう意味なのか、少しわかりにくくはありませんか?

カーボンは「CO₂(二酸化炭素)」、オフセットは「埋め合わせ」という意味です。

普通に生活をしているだけで、どうしても出てしまうCO₂によって進行してしまう「地球温暖化」。CO₂は私たちがどんなにやさしく努力しても、どうしても出てしまうものです。

そこで出てしまったCO₂を、他の場所で減らしたCO₂削減の権利を購入して埋め合わせする考え方が「カーボンオフセット」なのです。

CO₂の削減方法の例として「植林」や「熱帯での森林保護」や「国内での積極的森林利活用」などがあります。CO₂を吸収してくれる森林を育てる＝「森づくり」をすることで、自分たちが出した分を埋め合わせていくことができるのです。

最近は、服や食品・電気製品など、私たちの暮らしの中にも、色々なカタチでカーボンオフセットを採用した商品やサービスがどんどん増えてきています。



ひとりひとりの取り組みが
「森」を豊かにしていきます。

真庭市のカーボンオフセット概要

株式会社トンボの取り組み

学生服メーカーの(株)トンボは、スポーツウェアなどを製造する2工場から排出されたCO₂を、真庭市から購入したクレジットを用いてカーボンオフセットしています。また、真庭市で活動しているトンボの森づくりには、社員とその家族が毎回多数参加し、社員同士や地域住民との交流を深め、森の整備を行っています。



一般社団法人真庭観光連盟の取り組み

バイオマスタウン真庭の地域内循環型社会を見学できるバスツアー「バイオマスタウン真庭」のバス運行によって排出されるCO₂を真庭市から購入したクレジットを用いてカーボンオフセットしています。また、地域内の他団体(ひるぜん焼そば好いとん会・真庭エスパス文化振興財団)とも連携して地元の方々と一緒に、積極的な環境貢献活動の推進につとめています。



未来につなげよう まにわの

里山との「暮らし」、ふたたび。

岡山県真庭市

森の恵みを暮らしで活かし
様々な生き物と共生しながら
森と共に生きる新しい
ライフスタイルを
目指しています!



真庭・トンボの森づくり推進協議会

真庭・トンボの森づくり推進協議会
(真庭市市民環境部環境課内)

TEL.0867-42-1113 FAX.0867-42-7455

<http://www.maniwa-kankoh.net/tombo/tombo.html>

真庭・トンボの森づくり 検索

どなたでもご参加いただけます。企業の社員研修、学校の環境学習など、お気軽にお問い合わせください。



Offset 116g-CO₂

この製品の印刷工程から発生するCO₂は
真庭観光連盟の真庭市国内クレジットを
活用してオフセットされています。

未来につなげよう まにわの に、あなたも参加してみませんか。

循環の環

地域の資源を
市民・事業者・行政が
一丸となり、
地域内で
利用する仕組みを
築き、実践。

経済の森

主に植林針葉樹を利用し、木
材業を営み、木くずなどの副
産物の利用にも力を入れ、
バイオマス事業に展開中。

気づきのわっ!

里山の
動植物との出会いや
自然の変化、森の恵み、
暮らしの知恵など、
新たな気づきも
たくさん!

生活の森

広葉樹を中心とした森づくり
活動の場であり、昔のよう
に生活と密着した里山林を
目指している。

生物多様性の輪

放棄耕作地を
「ビオトープ」に。
生態系の輪が広がっています。
また森でも下草刈りや
林床に光を当て、
環境変化のモニタリングを
しています。

バイオマスタウン真庭

真庭は古より豊かな森と自然に
恵まれ、人々はその恩恵を受けなが
ら、共存してきました。そして現在、
豊富な木材資源を余すことなく利用
し、森林育成へと還元していくために
産官学一体となり、バイオマス事業
が展開され、注目されています。

各産業、地域の人々の連携により
バイオマス発電（バイオマスエネル
ギー）や商品の開発が進んでいます。
この木質バイオマスの活用を森林資
源の見直し機会とし、林業の活性化
及び山村再生、そして次世代の子供
たちの、森や自然と共に魅力ある
持続可能な暮らしの実現を目指して
います。

国内クレジット制度 (2013年4月よりJ-クレジット制度)

真庭市役所では、冷暖房などを
木質バイオマスエネルギーでまかな
い、年間300t以上のCO₂排出量が
削減されています。それを「国内ク
レジット制度」を活用して、株式会
社トンボと一般社団法人真庭観光連
盟が購入。そのクレジットを用いてカー
ボンオフセットへの取り組みを進行
中。またクレジット売却益は森づくり
活動の原資となっています。

真庭・トンボの森づくり

夏から秋にかけて、年4回活動中の
「真庭・トンボの森づくり」。1年間で
300名もの参加があります。㈱トンボ
社員や家族、活動エリア近郊の住民
の方に加え、活動に共感いただいた
個人の方など、回を増すごとに参加
者も増え続けています。

活動内容も常に工夫を凝らし、下草
刈りや間伐作業はもちろん、自然
観察会、椎茸のコマ打ち、薪・炭作り、
子供の保育を行う森のおさんぽ会
等々、保全だけでなく、様々な角度
から「森」に触れ、知る機会となるこ
とを心がけています。また昼食も地域
の郷土料理や手造りの石窯で焼いた
ピザなど、参加者の楽しみのひとつ
となっています。

活動の様子はこちら → [真庭・トンボの森づくり](#) 検 索

交流の話

地域のお年寄りから
森づくり活動を通して、
昔の里山の暮らしや
仕事などについての
話を聞きます。

出会いの和

真庭市は
旭川の源流域です。
「源流域の真庭市民」と
「下流域にある㈱トンボの
社員やその家族」が
森づくりを通じて出会い、
和が広がっています。



蒜山三座

ジャージー牛

椎茸植菌

炭焼き

森のおさんぽ会

放棄耕作地で
ビオトープ

オオサン
ショウオ

放棄耕作地で
ビオトープ

㈱トンボ
美咲工場

森づくりに
参加

旭川

森づくりに
参加

㈱トンボ

瀬戸内海

昔は薪でご飯を
炊いたり、台所用品や
生活用品もほとんど
木製じゃった。昔の人は
木を使って生活して
いたんじや。

日本人は森で
木を使って
暮らしていたの？
木を切ったら
どうなるの？

木を使うと
森が元気になる、
生き物も
たくさんいる森に
なるんじや。

森って
すごいんだね!

ササユリ

アカショウビン